

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度 第3回文化財審議会
開催日時	令和5年12月5日(火) 15時00分～17時00分
開催場所	中央図書館 会議室
出席者	佐々木真理子委員、杜多堯慶委員、会田明委員、塩野邦夫委員、 山本長春委員、和田雅子委員 事務局（土田課長、隈本副課長、大野主任）
欠席者	小林浩委員
会議次第	1. 議案事項 富士見市指定文化財の答申について 2. その他 文化財資料保存処理業務委託の進捗状況について
会議資料	・文化財保護事業に関する資料
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	佐々木真理子委員
会議内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 課長挨拶</p> <p>3. 議長挨拶</p> <p>4. 議事</p> <p>(1) 議案事項</p> <p><b>富士見市指定文化財の答申について</b></p> <p>事務局：「氷川前遺跡出土銅鏡」及び「鶴瀬駅開設の石碑」の指定について、文化財審議会として答申を行うにあたり、前回の会議での指摘などを踏まえて、その内容について検討していただきたい。 → 事務局から資料説明 以上の通りである。</p> <p>委員：「鶴瀬駅開設の石碑」について、石碑の現在の所有者については確認ができるのか。</p> <p>事務局：現在は明らかではなく、確認中である。確たる所有者が定まっていない場合も含めて、対応を検討したい。</p>

委員：所有者不明の文化財を市指定登録とすることは可能なのか。

事務局：手続き上、難しい。現在、市指定となっている文化財は、すべて所有者が定められている。

委員：石碑の所有をどのように定めるかについて、類似する文化財を指定している市町村や、県の指定文化財担当に相談してみてもどうか。

事務局：そのようにしたい。石碑の所有者の問題については、より検討し、結果については後日改めて連絡をさせていただきたい。

## (2) その他

### 文化財資料保存処理業務委託の進捗状況について

事務局：保存処理業務委託中の「氷川前遺跡出土銅鏡」については、現在、脱塩処理などが終了し、充填部分の彩色を行っていく段階にある。彩色の方法としては、充填した箇所を目立たないようにする方法と、充填した箇所が判別し易い状態にとどめておく方法がある。教育委員会としては、鏡の内面は充填が目立たない彩色、外面を判別し易い彩色にすることを考えている。

委員：今後、資料館などでの展示をする上では、充填した箇所が目立たない方が、一般市民にも完形の状態をイメージし易い。

委員：破損した状態もまた、文化財としての情報である。破損箇所が判別できない復元は、相応しくないのではないか。

事務局：挙げられた意見を踏まえ、彩色の方法について業者と調整していく。基本的には鏡の内面は充填が目立たない彩色、外面を判別し易い彩色にするが、内面の彩色もあまり写實的にせず、ある程度判別ができるようにしたい。

## 5. 閉会